

豊栄高校「にひばり祭」の作品紹介記(1)

11月6日(金)

11月3日(文化の日)に伝統の「にひばり祭」(文化祭)が開催されました。本校には、他校にない芸術コースがあります。これに引っ張られる形で、1年生の芸術選択者、文化部を含め、生徒の書道作品、美術作品、音楽合唱の水準は低くありません。

今回紹介するのは、1年生の美術選択者の作品です。基本的な制作技術を学んだ後、「秋」を題材に、自由な発想で制作しました。

以下に作品の一部を紹介します。(用紙の傾斜と、一部光沢が出たのをご容赦ください)



秋の植物、昆虫。そして「読書の秋」ですね。



秋の紅葉と読書の少女。



紅葉の木々と振り返る鹿。



夕陽とトンボでしょうか。



純和風的です。



紅葉の山と夕陽。秋一色。



月夜ですが、右の猫の影がかわいいです。



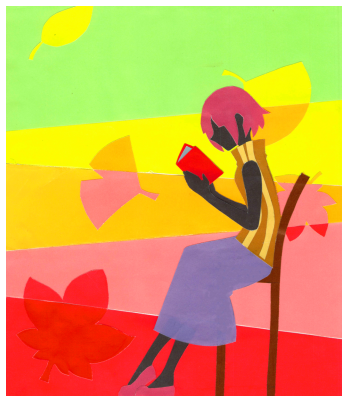
三日月と灯のともる城。右の茶色は獣の手かな。



大きなカラスが斬新です。

今年の「にひばり祭」ポスターは、1年生の作品群から、秋のテーマ、色彩、構図で優れた作品を選び、それを美術の教員がポスターとして編集しました。それでは、制作した生徒と編集した指導教員から、作品への思いを語ってもらいます。

原画制作者(1年女子)



私が特にこだわりを持った所は背景です。

上から下にかけて、夏らしい緑から秋を感じる赤色へ変わるよう色を並べ、葉も紅葉へと移り変わるよう配置しました。

さらに、季節の境界線にある葉の色も次第に深い色にし、見やすく工夫しました。

人物は指先や足先まで細かく仕上げた所を見ていただきたいです。

ポスター編集制作者(芸術科 美術教員)

美術Ⅰの選択者は、基礎的ないくつかの課題をこなす中で学んだ、色の組み合わせや形を配置する技術をこの平面構成に生かすことを求められました。

この作品の制作者はアイデアスケッチの進度が速い上、作り始めてからも色や形のバランスが安定していました。背景だけでなく人物の頭や本、靴にそれぞれ微妙に違う赤系を使うなど、画面全体としては赤と緑の補色を用いながら、きつい感じにならないよう色の面積、彩度と明度を調節できている点がこの作品を印象的にしている理由の一つです。

今後も継続して良い作品を作ってほしいと思います。

